

JAXA「はやぶさ」関係者は何に影響を受けて宇宙に興味を持ったか

○有馬比呂志¹・井道上達広¹・井吉川 真²

(1 近畿大学工学部・2 JAXA 宇宙科学研究所)

目的

JAXA の「はやぶさ」「はやぶさ 2」関係者が、どのようなものによって影響を受けて、宇宙に興味を持ったのかを知ることを本研究の目的とした。

方法

調査対象者 「はやぶさ」「はやぶさ 2」関係者。

調査時期 2020 年 6 月 1 日から 6 月 9 日。

調査手続き Google のスプレッドシートをオンライン上に掲載し、URL を知っている関係者であれば、だれでも書き込めるような形にした。影響を受けたと考えられた項目は、調査対象者各自が随時追加できるようにし、各自 3 個程度、該当項目に○を付けてもらった。氏名（任意）と年齢を何歳代かで記してもらい、さらに項目についての自由記述欄には任意での記述を求めた。

結果

30 歳代から 60 歳代までの合計 46 名から回答を得た。はやぶさ、はやぶさ 2 の関係者の多くは 40、50 歳代であったため、彼らの選択した項目数の累計は 154 と全体の約 78%(154/197)を占めていた。項目の選択は、3 項目以上を選んだ人もいたため、一人平均 4 個程度の選択がなされた。3 項目以上選択された項目は Figure 1 に示す。なお、2 項目以下は示していない。

選択された中では【アニメ】の「宇宙戦艦ヤマト」、「銀河鉄道 999」、「機動戦士ガンダム」が多数を占め、ついで【事柄】の「惑星探査機ボイジャー」、「アポロ計画」、【本】の「コスモス（カールセーガン）」を選択した人が多かった。30 歳代では【事柄】の「小惑星探査機はやぶさ」を選んだ人が最も多かった。すべての世代で選択されていたのは【事柄】「アポロ計画」であった。

自由記述 自由記述の中で宇宙に興味を持った時期などが明示されたキーワードを抽出し、その時期と項目および抽出数を Table 1 に示す。

考察

結果より、宇宙に興味を持つにはアニメや漫画、本、次いで体験の影響が大きいことが示された。キャリア教育の観点から考察すると、宇宙に興味を持ちその道に進むには、幼児期、児童期よりア

ニメ、図鑑、プラネタリウムなどから影響を受けることが必要で、さらに青年期以降では、宇宙関連の本を読み、天文現象の実体験が重要であることが示唆された。

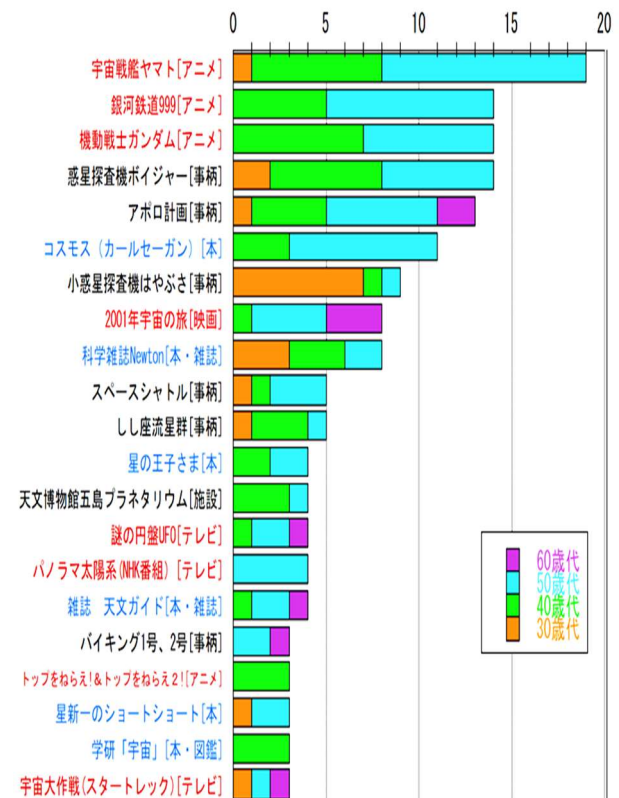


Figure 1. 影響を受けた項目とその選択数

Table 1 宇宙に興味を持った時期と項目選択数

項目/時期	幼小	中高	大学(院)	社会人
アニメ・漫画	2	3	0	0
宇宙関連科学雑誌、図鑑	3	0	0	0
プラネタリウム	2	0	0	0
本	1	3	0	0
ハレー彗星、しし座流星群	1	1	0	0
「はやぶさ」	0	0	1	1

謝辞

本研究は「はやぶさ」帰還 10 周年を記念したアンケートをまとめたものである。ご協力いただいた関係者の皆様に心より深く感謝申し上げます。